養老線リ・デザイン協議会会則

(名称)

第1条 本会は、養老線リ・デザイン協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、鉄道事業再構築実施計画を基に、養老線が地域住民に必要不可欠な公共交通として、持続可能となるよう再構築（リ・デザイン）するとともに、養老線沿線自治体（以下「沿線自治体」という。）が相互に連携し、養老線の利便性を高め活性化させることを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、別表1の沿線自治体をもって構成する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 養老線への支援に関すること。
- (2) 収支改善策に関すること。
- (3) 再構築実施計画策定に関すること。
- (4) 国、鉄道事業者、養老線協力団体等との情報交換及び連絡調整
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項

(会議)

第5条 本会の会議は、協議会、幹事会とする。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	1名
監 事	2名

2 役員は、協議会において選出する。

3 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 会長は、本会を代表し、協議会の議長となり会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
- 3 監事は、本会の会計を監査する。

(幹事)

第8条 本会に、会務の処理に当たらせるため、幹事を置く。

- 2 幹事は、各沿線自治体の推薦に基づき会長が指名する。
- 3 代表幹事は、会長が指名する。

(オブザーバー)

第9条 会長は、必要に応じ国、鉄道事業者、学識経験者等をオブザーバーとして会議に出席させ、意見を述べさせることができる。

(協議会)

第10条 協議会は、年1回定期に開くほか、必要に応じ開催することができる。

- 2 協議会は、沿線自治体の代表者をもって構成する。
- 3 協議会は、会長が招集する。
- 4 協議会は、次の事項を議決する。
 - (1) 会則の変更に関すること。
 - (2) 鉄道事業再構築実施計画に関すること。
 - (3) 予算及び決算に関すること。
 - (4) 幹事会が協議会の議決を必要と認めたこと。

(幹事会)

第11条 幹事会は、第8条に規定する幹事をもって構成する。

- 2 幹事会は、会長の指示により代表幹事が招集し、代表幹事が議事の進行を行う。
- 3 幹事会は、次の事項を議決し、又は、執行する。
 - (1) 協議会に提出する議案の作成に関すること。
 - (2) 協議会により委任された事項の運営に関すること。
 - (3) その他協議会の議決を要しない会務の執行に関すること。

(作業部会)

第12条 会長が必要と認めたときは、作業部会を設けることができる。

- 2 作業部会は、特定事項に関わる内容について、協議及び調整を行う。

- 3 幹事会が認めた事項については、作業部会の決議をもって、幹事会の決議とすることができる。
- 4 作業部会員は、会長の指示により、代表幹事が指名する。
- 5 代表幹事は専門的な見識を持ったアドバイザーの参加を委嘱することができる。
- 6 作業部会は、代表幹事が招集する。

(会計)

- 第13条 本会の経費は、分担金、寄付金その他の収入をもって充てる。
- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

- 第14条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局は、会長の属する自治体に置く。

(委任)

- 第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この会則は、平成19年 5月21日から施行する。

附 則

この会則は、平成20年 4月 1日から適用する。

附 則

この会則は、令和 6年 4月 1日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係)

沿	線	自	治	体
大		垣		市
桑		名		市
海		津		市
養		老		町
神		戸		町
揖	斐		川	町
池		田		町